

NEWS RELEASE

塗装ロボット2台入れ替えで、約4,000万円の設備投資を行います。

ダイニチ工業(株)[新潟市南区:社長 吉井久夫]は、3月27日(月)の生産より新型塗装ロボット2台を導入します。今回の塗装ロボットは3代目で、約4,000万円の設備投資となります。

塗装ロボットは人間の腕や手先と同様の運動機能をもち、人間の手作業の代行を目的とした装置で、ファンヒーターの外装部品の細かい部分を塗るための機械です。

【導入の主な理由】

- ・現在の塗装ロボットは1995年、1996年に導入し、約22年にわたり稼働。メンテナンス部品が終了し、修理対応不可となったため入れ替えを決定。

- ・新しいロボット導入のメリットは以下の通り。

1. 精度の向上で不良率が低減

塗装の設定が2段階から5段階切替に。精度が上がり、塗りムラなどによる不良率を下げる効果が期待できる。

2. 塗装可能台数が7,000台/日 ⇒ 8,000台/日に

精度が上がることで、塗装コンベアスピードも速く設定でき、生産性が向上。

新しいロボットには「のぞみ」と「つばさ」と命名。創業者である故佐々木文雄が「機械も仲間。社員同様に大切に扱うこと」と常日頃口にしていたことより、思いを引き継ぎ塗装課のメンバーが決定しました。

これからの新しい時代に向け、さらなる活躍、未来への飛躍をするようにという願いが込められています。

新型塗装ロボット稼働開始日

- 日時 2017年3月27日(月) 9:00 ~

- 場所 ダイニチ工業株式会社 北部塗装工場(本社敷地内)

〒950-1295

新潟県新潟市南区北田中780-6



●従来のロボット「信長」(左)と「秀吉」(右)。